（別添資料１）

事業所名	ぽらりす	支援プログラム（参考様式）	作成日	2026 年	3 月	20 日

法人（事業所）理念	・子どもたちが安心・安全な場所で成長できる環境を提供します。 ・子どもたちに活動を通し、楽しさや厳しさを伝え自信に繋げます。 ・子どもと家族が笑顔で過ごせるように地域と連携し支援します。				
支援方針	・障がいの特性や様々な生活環境に対応し、子どもの自立を促進、生活の質の向上、集団生活に適応できるように適切な支援を行います。 ・障がいの理解を深め、子どもたちが何に興味を持っているのかを把握し、様々な体験をすることで感性を磨き、自分で出来る喜びを積み重ね成長に繋げます。 ・障がいの有無に関わらず、身近な地域で適切な療育が受けられる空間を提供します。				
サービス提供時間	放課後	１４：３０ ～ １７：３０	学校休業日	１０：００ ～ １６：００	送迎実施の有無
営業時間	放課後	１４：３０ ～ １７：３０	学校休業日	１０：００ ～ １６：００	あり（一部相談）

		支　援　内　容	備考
本人支援	健康・生活	・物の管理や身だしなみなどの身辺自立を意識して支援しています。 ・日々検温することにより健康管理の意識が高まるよう支援しています。 ・食事前のテーブルの消毒や皿洗いの手伝いを当番という形で子ども達に経験してもらっています。	※５領域共通の取り組みとして、５領域に分けた事業所独自のアセスメント様式（「現状確認表」）を活用し、本人の自立状況の把握や支援の必要性等を職員間や保護者と視覚的に共有できるようにしています。
	運動・感覚	・事業所内で卓球大会を開催し運動機会を作っています。 ・季節に合った製作物を作製し手の使い方や感触を楽しむ機会を作っています。	
	認知・行動	・その日の当番や役割を視覚的に確認できるよう、当番表に顔写真を張り付ける等の環境設定をしています。 ・自由遊びの中でも、相手のことを意識できるような遊び(卓球、少人数参加型ボードゲーム等)を用意し、活動の中でルールや順番を守ること等を意識できるようにしています。	
	言語 コミュニケーション	・非言語的コミュニケーション、言語的コミュニケーション双方活用しながら本人の発信する力を大事にしています。 ・要求の言葉などを相手に分かるな形で伝えられるよう支援しています。 ・その子の発達段階に合わせて適切なコミュニケーション方法を身に付けられるよう、様々な活動の中でアプローチの機会を作っています。	
	人間関係 社会性	・様々な人との関わりや活動の機会がある中で、本人の個性を表出できるような関係づくりや環境を大切にしています。 ・「一緒に遊びたい」「仲良くなりたい」等子ども達それぞれの想いを汲み取り、実現できるようスタッフが後押しします。 ・集団での活動や役割・当番を通して自分がやるべきことの確認や気持ちの折り合いをつける機会とし、気持ちを調整する力を養います。	

家族支援	・保護者会を開催し、保護者様同士が交流できる機会を作っています。 ・帰りの送迎時、ご家庭での様子に変化がないか、ご家族の悩み事がないかを確認できるようにしています。	移行支援	・同法人内での移行の場合には、定期的に体験や見学の場を作り、ご本人がスムーズに移行できるよう支援しています。 ・卒後の就労先等施設への移行についても情報共有を行っています。
地域支援・地域連携	・地域の体育館を定期的に利用する等、地域とインクルーシブな関係構築を意識しています。 ・地域の公園等の清掃活動を行い、より良い関係作りを意識しています。	職員の質の向上	・毎月テーマ別で社内研修を実施しています。 ・共有のツールを用意し最低限の質の確保につなげています。 ・自治体の外部研修や資格研修に参加するようにしています。
主な行事等			